

6 / 4 講話

運動会が大成功に終わりました。

多くの来賓の皆様が参観してくださいましたが、全ての人が皆さんの表現や競技、係の仕事を観て…

「素晴らしい運動会です。」

「子供たちも健やかに育っています。」

「教職員の皆さんも子供たちのために率先して動いていますね」

など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

今日このあと、担任の先生からたくさん褒めてもらってくださいね。

話を変えます。

1カ月後の7月3日、新紙幣の発行が始まります。

1万円札の肖像画は「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一です。

彼は、銀行を始めたり鉄道をしいたりし、今の日本の社会の土台を作った人と言われています。このように大きなことを成し遂げた人が重視していたことは「小事（小さなこと）」でした。

渋沢栄一は次のようなことを言っています。

「人は小さな物事をバカにすることがあるがこれは考え違いだ。一通の手紙を書くにも、私はそのことに集中し他のことは決して思ったり考えたりしない」と…

日本の社会の土台を作り、大きなこと（大事）を成し遂げた人は、目の前にある小さなこと（小事）に全力で取り組んでいたことが分かります。

昔の人は「小事（小さなこと）つもりで大事（大きなこと）となる」と言いました。小さなことを積み上げていくことで大きなことを成し遂げることができるという意味です。

皆さんは、運動会の練習時、一つ一つのことにチャレンジし続けました。その結果、大きなことを成し遂げました。

これからもコツコツと地道に目の前のことをやり遂げましょう。そのことが自分に大きな成果として戻ってくることを信じて…